

災害概略シート

項 目	内 容
災害の名称	1854安政東海地震・安政南海地震
災害の種別	地震
概 要	立て続けに発生した巨大地震の揺れと津波により、関東から九州におよぶ広範囲の地域で甚大な被害が生じた。
時 代	近世（江戸時代）
発生年月日	安政東海地震：1854年11月4日午前9時頃 安政南海地震：1854年11月5日午後4時頃
発生場所	安政東海地震：東海・熊野海岸沖 安政南海地震：紀伊水道・四国南方沖
被災規模	安政東海地震：死者2～3千人 安政南海地震：死者数千人
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・東海地震については、安政以来歪みが解放されておらず、いつ大地震が起こってもおかしくない状況とされている。東南海・南海地震についても、今世紀前半での再発が懸念されている。 ・今回の報告書においては、多くの被災地の中から伊豆下田（現静岡県下田市）、大坂（現大阪府大阪市）及び紀伊広村（現和歌山県広川町）における被害と対応の状況を中心に記載した。紀伊広村の濱口梧陵の活躍は、戦前の教科書に、物語「稲むらの火」として掲載され、広く知られるところとなった。